

| 会議録                  |  |
|----------------------|--|
| 付属機関又は<br>会議体の名称     | 第3回 男女平等推進センター運営委員会  |
| 事務局(担当課)             | 男女平等推進センター   |
| 開催日時                 | 令和4年9月30日(金) 午後3時～   |
| 開催場所                 | 男女平等推進センター研修室2   |
| 出席者                  | 委員<br>小吹 文紀 有泉 三起子 川崎 渉 原田 敏郎 木川 るり子<br>宮崎 信行 林 千鶴子 堀江 咲智子 山本 和子<br>男女平等推進センター所長                           |
|                      | 事務局<br>2名  |
| 会議公開の可否              | 公開・非公開・一部公開 傍聴人 0名   |
| 非公開・一部公開<br>の場合はその理由 |  |
| 会議次第                 | 議題<br>1. エポック10 利用者アンケートの作成について<br>2. エポック10の事業について(豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度)<br>3. 報告事項<br>4. 連絡事項         |
| 審議経過                 |  |
| 委員長                  | 第3回 男女平等推進センター運営委員会を開会する。本日は遅れて出席する委員がいるため、議題の順番を一部変えて進行をしたい。まずは議題2から進める。                                  |
| 事務局                  | 【議題2】エポック10の事業について(豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度)<br>・事務局より資料2「エポック10の事業について(豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度)」説明         |
| 委員                   | 豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業になるメリットとして、「ワーク・ライフ・バランス推進に役立つ各種奨励金等の情報提供」とあるが、具体的にどういった内容なのか。                          |
| 事務局                  | 国や東京都が行っているワーク・ライフ・バランス推進のための職場環境整備に関する奨励金や、区が実施している企業向けセミナー、施策等をメールマガジンとして配信をしている。                        |
| 委員                   | 本制度へ申請ができる企業に条件はあるのか。例えば、資本金規模や従業員数によって申請の可否が決まることはあるのか。   |
| 事務局                  | 対象企業は申請時に豊島区内に本社または主たる事業所がある企業である。資本規模や従業員数等によって申請の可否が決まることはないが、常時雇用者101人以上の企業とそれ以外の企業とでは認定基準が異なるなどの差異はある。 |
| 委員                   | 本制度に申請した企業は、概ね豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定されるものなのか。  |
| 事務局                  | 申請すれば全て認定される制度ではないが、「ワーク・ライフ・バランス推進企業認定チェックリスト」で認定されるためのチェック数が明確に定められており、申請する企業はほとんどの                      |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | 場合、その必要なチェック数を超えているため、現状、申請した企業は概ね認定されている。仮に認定されなかった場合、区から改善提案等はなされるのか。  |
| 事務局 | 「ワーク・ライフ・バランス推進企業認定チェックリスト」で認定されるためのチェック数を超えているにもかかわらず認定されなかった企業の例はないが、新規申請企業や懸念点がある企業は社会保険労務士と区の職員による現地審査の対象となる。その際に是正や改善を要する点が発見された場合は提案等を行うことになっている。  |
| 委員  | 企業向けの認定制度は本制度だけなのか。  |
| 事務局 | 「豊島区 SDGs 特命大使」等の認定制度はあるようである。   |
| 委員  | 企業向けの認定制度を実施している他課と連携し、本制度の活性化を図ったらどうか。例えば、本制度の名称を変え、SDGs 等の他の要素も包含した制度にするのはどうか。   |
| 事務局 | 他課との連携や名称の変更については、各制度の目的等を鑑みて検討しなければならないと考える。当制度の目的は、「ワーク・ライフ・バランスを推進していることを社会的に評価される仕組みを作ることにより、働き方の見直しに向けた企業の自主的な取り組みの促進を図ること」とされているが、それ以外にも当制度の周知活動によりワーク・ライフ・バランスの考え方自体を認定企業以外の区内企業にも周知できることや、申請時のチェックリストで最新の法改正等の情報を漏れなく確認できる等の効果が期待できる。名称を変えてもワーク・ライフ・バランスの周知ができるのか、労働関係法以外の他の要素を多く盛り込んでも企業側が混乱しないのかを慎重に検討しなければならないと考える。 |
| 事務局 | 本制度は企業における働きやすい職場環境づくりの啓発を目的としていることを鑑みると、働きやすい職場環境の構築には人権問題や SDGs の考え方も含まれるものとする。そのような多角的な視点を持った制度にするべきというご意見はもっともであり、今後、チェックリストを作成するにあたり考慮していきたい。   |
|     | <b>【議題 3】報告事項について</b>  |
| 事務局 | ・ 事務局より資料 3-1「今後の事業予定について」を説明  |
| 委員  | 区制 90 周年記念事業は全て男女平等推進センターが所管で実施するのか。   |
| 事務局 | 第 1 回「性別の“思い込み”から自由になろう！」は当センターが所管となるが、第 2 回「子どもたちが 10 年後も住み続けたいと思えるまちづくり～ダイバーシティ&インクルージョンの視点から～」は「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室が所管となる。   |
| 事務局 | ・ 事務局より資料 3-2「施設の利便性向上への取組み予定について」を説明  |
| 委員  | 男女平等推進センターの職員は日々、忙しそうに仕事をしており、窓口で声をかけづらかったためカウンターチャイムの設置は良いことだと思う。カウンターチャイムは窓口の誰でも分かる場所に設置しているのか。また、カウンターチャイムが鳴ったら、誰が窓口に出るといった役割は決まっているのか。   |
| 事務局 | カウンターチャイムは窓口を設置しており、案内も掲示しているため分かりやすいと思う。また、カウンターチャイムが鳴った場合の窓口対応の担当職員だが、特段、担当等を決めているわけではないが、全職員が窓口や電話対応は最優先という認識を持っている。  |
| 委員  | 研修室の Wi-Fi 環境の整備について、Wi-Fi に繋げる端末自体は利用者が用意をするのか。   |

事務局 Wi-Fi に繋げる端末は利用者が用意していただく。  
委員 Wi-Fi の利用料は無料か。  
事務局 無料である。  
委員 Wi-Fi の利用は研修室利用者に限定するのか。  
事務局 当センターが構築した Wi-Fi については研修室利用者に限定する予定である。今まで、研修室は建物の構造上、としま産業振興プラザの Wi-Fi が届かなかったため、今回、当センターが独自に研修室に Wi-Fi 環境を構築した。よって、研修室以外のスペースはとしま産業振興プラザの Wi-Fi を従来通り利用できる。

### 【議題 1】エポック 10 利用者アンケートの作成について

委員長 前回の会議でアンケートはエポック 10 登録団体用と一般団体、個人利用者、エポック 10 イベント・講座参加者用の 2 種類を作成するという意見が出たが、アンケートの実施目的が「エポック 10 利用者の活動や交流の活性化を目指すため」ということを鑑み、今回は「エポック 10 施設利用者」にターゲットを絞り、アンケートを実施したいと考えている。また、アンケートの各項目については、エポック 10 の施設の周知となるような項目を設定している。

委員長 ・ 委員長より資料 1「エポック 10 利用者アンケート(案)」を説明  
委員長 アンケートの各項目について、意見を頂戴したい。

#### ・ No.3. 「エポック 10 の利用したこと施設はどれですか」について

委員 「情報・交流コーナー」と一括りになっているが、「テーブル利用」や「パソコン利用」、「図書コーナー利用」など、細分化した方が良いのではないか。

委員 「ワーク室」がどのような設備が分かりづらいため、「印刷室」と追記してほしい。

委員 「授乳室」を選択肢に追加してほしい。

委員長 修正する。

事務局 本設問において、回答はどのように活用する予定なのか。例えば「ワーク室」や「保育室」は利用率が低いと想定される。その場合、利用率が低いことに対して何らかの対応をするのか。

委員長 本設問はエポック 10 の施設の周知を目的としているため、回答結果を活用して何らかの対応をすることは想定していない。

#### ・ No.5. 「エポック 10 で一番使いやすい場所はどこですか？」について

委員 使いやすい場所を聞く意味が薄いと思う。No.4 で利用目的を聞いているため、本項目は不要と考える。

委員長 削除する。

#### ・ No.6 「エポック 10 で一番使いづらい場所はどこですか？」について

委員 選択肢ではなく自由記載にしたらどうか。

委員長 自由記載の No.13 「エポック 10 を利用して、日頃感じていることがあればご意見ください。」に本項目は含まれるため、削除する。

#### ・ No.7 「コロナウイルス流行後、利用方法は変わりましたか？」について

委員長 アンケート全体のボリュームを鑑みて、当該項目は設けるべきか。

委員 新型コロナウイルス流行から数年が経過し、現在はアフターコロナと言われている中で、本項

|      |   |
|------|---|
| 委員長  | 目を設ける意味合いが薄いと感じる。削除でいいのではないか。   |
| 事務局  | 削除する。   |
| 委員長  | ・ No.8「エポック10の以下でご覧になったことがあるのはどれですか？」について<br>エポック 10 メールマガジンを追加してほしい。   |
| 委員長  | 修正する。   |
| 委員   | ・ No.9「エポック 10 にあったらいいなと思う施設・設備は何ですか。」について<br>自由記載のNo.13「エポック 10 を利用して、日頃感じていることがあればご意見ください。」に<br>本項目は含まれるため、不要ではないか。   |
| 委員長  | 削除する。   |
| 委員長  | ・ No.11「毎年 6 月(2020 年と 2021 年はコロナ禍で10月開催)に登録団体で開催する<br>エポック 10 フェスタをご存知ですか？」について  |
| 委員長  | エポック 10 の施設の周知となるような項目が中心となっている本アンケートにおいて、No.11<br>は事業についての設問であるが、不要であるか。   |
| 委員   | エポック 10 フェスタの認知度は把握した方がいいと考える。  |
| 事務局  | 認知度の把握を目的とするのであれば、「知っている」または「知らない」の選択肢のみで良い<br>のではないか。エポック 10 登録団体には毎年、参加の意向を伺っているため、参加について<br>の設問は不要と考える。  |
| 委員長  | 修正する。   |
| 委員長  | 委員からの意見を基に修正作業を行う。今後、アンケートの QR コード作成等で改めて委員に<br>諮る予定である。今後のスケジュールについては事務局と相談をしながら進めていく。   |
| 事務局  | アンケートに余白があるようであれば、エポック 10 の Twitter やメールマガジンの QR コー<br>ドやリンクを掲載してほしい。   |
| 委員長  | 了解した。   |
|      | <b>【議題 4】連絡事項</b>   |
| 事務局  | この回をもって、第 29 期運営委員の 3 名が任期満了となる。最後に一言、挨拶をお願いし<br>たい。  |
|      | －第 29 期運営委員挨拶－  |
| 委員長  | 最後に事務局より次回の会議について連絡をお願いする。  |
| 事務局  | 次回、第 4 回運営委員会は 10 月 14 日(金)15 時から開催する。  |
| 委員長  | 以上で運営委員会を終了する。  |
| 提出資料 | 資料 1 エポック 10 利用者アンケート(案)<br>資料 2 エポック 10 の事業について (豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度)<br>資料 3-1 今後の事業予定について<br>資料 3-2 施設の利便性向上への取組み予定について<br>参考資料 豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業募集チラシ |